

# ロジカルシンキング研修

## 研修の 目的

1. ロジカルシンキングの基礎知識を学び、物事を道筋立てて整理・分析し、論理的に考える力を身につける
2. 相手に何を伝えたいのか？を意識した“わかりやすい伝え方”のポイントを学ぶ
3. 演習を通してロジカルシンキングとわかりやすい伝え方を実際に体験する

## ■主な内容(標準時間3時間)

項目	内容
1. ロジカルシンキングはなぜ必要か	(1)ロジカルとは、ロジカルシンキングとは (2)ロジカルシンキングは何に役立つのか？ (3)他の思考法との違いとその使い分け ・ラテラルシンキング ・クリティカルシンキング (4)論理と感情のバランス ・「単なる感情論」と言われないために
2. ロジカルシンキングに基づく情報の取捨選択	(1)多くの情報を構造化(整理)して答えを探す ★フレームワーク思考 ・MECE(モレなくダブリなく) ・「So What? 」と「Why So? 」の考え方 ・情報の構造化の代表手法 (2)限られた情報に仮の答えを想定して逆算する ★仮説思考 ・一般的な法則から特定の結論を導く:演繹法 ・特定の事例から一般的な法則を導く:帰納法
3. ロジカルシンキングの体験	(1)論理的思考の体験<グループワーク> (2)講師講評
4. わかりやすい伝え方	(1)あなたにとって“入ってこない”説明は？ (2)伝え方を考える前に:まずは相手を理解する ①話の意図を汲み取る聴き方 ②話の背後にある背景や理由(目的)への着目 (3)わかりやすい伝え方(その1):話の構成・順番 ・最初に何を伝えるか？を考える ・代表的な手法(PREP法ほか) (4)わかりやすい伝え方(その2):コンパクトに伝える ・要約して伝える、一言で表現する (5)わかりやすい見せ方のポイント ・文字で伝える場合のポイント(見出しの意識) (6)ペアワーク(1対1のプレゼンテーション)
5. 研修のまとめ	■自分自身の課題(問題意識)と日常業務への落とし込み

お問い合わせ・ご相談

株式会社 学宣

03-6205-5691 uketsuke\_sougou@gakusen.co.jp

(管理コード) 250730-0017